

行田委員

今日は横浜修悠館高校の存在の周知について、この 1 点だけ質問させていただきたいと思います。

通信制高校は、働きながら学んだり、自分の生活スタイルに合わせて学んだりする生徒以外にも、中学校時代に不登校であったなど、集団生活になじめず、毎日の通学が難しい生徒や、入学した高校を中途退学した生徒など、様々な課題を抱えている生徒が学んでいる場でもあります。今の社会情勢や今後を考えましても、やはり大変重要な働きをするのではないかと私は思っております。

そうした中で、県立高校改革に基づきまして、平成 20 年度に通信制新タイプ校である横浜修悠館高校が新設されまして、開校して 3 年目を迎えているところです。次の春には卒業生が出るという状況になっております。現状などについて幾つかお尋ねしたいと思います。

まず、確認なんですけど、一般の通信制高校と比較した場合の横浜修悠館高校の特徴、これをまず伺っておきたいと思います。

高校教育企画課長

通信制の高校、ここでは、生活スタイルに合った学びの場として、主体的に選択する生徒もおりますし、また今御指摘のように、中学校時代に不登校であったなど、なかなか集団生活になじめないなど、通学することがなかなか難しい生徒、そういった様々な生徒が学んでいるところでございます。一般に、通信制の高校での学びの仕組みは、添削指導、面接指導、試験、この三つが柱となっております。レポートと呼ばれる報告課題に取り組んで添削指導を受け、スクーリングと呼ばれる面接指導に月 2 回程度参加し、必要な時間数について指導を受けた後、決められた範囲まで学習が進むと試験を受けると、こういった仕組みになってございます。

一般の通信制高校では、レポートを郵送でやりとりして学習を進めて、主に日曜日にスクーリングに参加するといった形態での学びを提供しているところでございますが、横浜修悠館高校では独立した施設を持っておりますので、平日に登校する機会を設けて、生徒の学習の進捗状況に応じた講座を設定し、レポートに取り組むことができるよう指導を行うほか、IT 環境を活用させていただいて、デジタル教材を活用した自学自習の支援、個別の学習相談など、登校せずに学ぶ機会を拡大するといったサポートシステムを提供しておりまして、一人一人に応じた、よりきめ細かい対応を行っているというところに特徴がございまして。

行田委員

先日も、この学校に在学している学生さんや保護者の方とお話する機会があったんですが、非常に良い学校だなと思っておりますが、多様な生徒への学校の対応状況についてお伺いしておきたいんですが。

高校教育企画課長

横浜修悠館高校に学ぶ生徒は、全日制などの学校では学ぶことが難しい様々な課題を抱えておりまして、当然、一人一人にきめ細かな指導をすること、一

一人の学びを応援することを基盤とした指導が進められているところでございます。今まで学びたいと思ってもなかなか学校に行けなかったけれども、横浜修悠館高校で思い切り学びたい、ちょっと時間がかかってもいいからあきらめずに頑張っていきたい、自分の夢を実現するために、この通信制の仕組みを活用していきたいといった生徒を一生懸命応援するために、様々な形での指導を行っております。

例えば、生徒指導に関する基準を明確化して、他人に迷惑を掛ける行為ですか、授業中の態度などの基本的なルールを厳しく指導することで、学びたい生徒が安心して学べる学校づくりを推進していくことや、生徒の学習や生活に対して助言者となりますメンターという制度を設けて、継続的に声掛けを行って、さらに特に支援が必要な生徒には、関係機関とも連携をして、個別の支援計画に基づいた指導を行うなど、きめ細かな学習支援によって確かな学力を定着させていこうという取組、さらに入学年次にすべての生徒が学ぶこの学校独自のキャリア学習の科目である、キャリアガイダンスという科目を設け、生涯にわたって学び続けていく、そういう力、また社会に出たときに必要となる力、こういったものを育てようというような形で、教育を提供しているところでございます。

さらに、学校を核としながら、互いに学び合う地域の教育コミュニティづくりということも進めておまして、保護者、地域、また学校を支援していただけるボランティアの方、NPO等との協働活動を進めるなどいたしまして、多様なニーズを持っている生徒に対応していく多彩な取組を展開しているところでございます。

行田委員

いろいろなこれまでの成果や課題というのがあると思うんですけども、要望といいますか、いじめ、ひきこもりなどの話題が報道される中にありまして、たとえ毎日の通学ができずに、全日制、定時制高校に通うことができない生徒でも、高校講座とかITを活用して学ぶということがこの高校ではできるわけですので、この高校の存在意義は大変大きいと思っています。新校で入学した生徒が、早ければ来年の春以降には卒業していくわけでもございまして、横浜修悠館高校がこれからも引き続き設置の趣旨にのっとりましてきめ細かな学びを続けていくことを期待しておりますし、また教育委員会としてもしっかりと支援を行っていただきたいと思っております。

さらに、今日はこれを本当に強調しておきたいんですけども、これから受験シーズンに入っていきます。本当に、いろいろな状況の中で、これから進路をどうしようかと思っている生徒、保護者がたくさんいらっしゃるんだと思っています。ですので、中学生や保護者などに、こういう高校もあるんだよということを、より一層積極的に知らせていってあげてほしいなというふうに強く要望いたしまして、私の質問を終わります。